

## あ い さ つ

滋賀県では、これまで滋賀県琵琶湖研究所および滋賀県立衛生環境センター（環境部門）を設置し、びわ湖と本県の環境の保全・改善のために試験検査、監視、調査研究をおこなってきました。琵琶湖研究所は、びわ湖と集水域の環境にかかわる調査研究により、湖内の水質にかんする現象の究明につとめると同時に、びわ湖の水環境における生態系保全の重要性を指摘し、生態系の構造と機能の正確な把握にとりくんできました。また、衛生環境センター（環境部門）は、モニタリングを継続的に実施し、びわ湖と本県の環境の実態把握につとめ、びわ湖の水質、公害の防止、生活環境の保全等にかんする情報の解析と提供をおこなってきました。

しかし、近年、びわ湖および本県を取り巻く環境は、さまざまな環境負荷の増大によって、富栄養化の進行、有害化学物質による環境リスクの増大がみられ、生態系や人の健康への影響などが一層危惧される状況にあります。こうした問題を解決し、持続可能な発展を実現するためには、びわ湖と本県をとりまく環境問題の実態把握にたつて、その保全の的確な方策をみだし、幅広い合意のもとにこれを実施していくことが重要となります。

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センターは、びわ湖をかかえた滋賀県が直面しているさまざまな環境問題に、試験研究をつうじて科学的・技術的な面から課題解決をはかるため、琵琶湖研究所と衛生環境センター（環境部門）のもつ機能を再編統合し、平成17年4月、新たに活動を開始しました。試験研究の推進にあたっては、現象解明など試験研究の深化にくわえて、課題解決型研究の視点を明確にし、社会・行政ニーズに対応した効果的な政策提言につながるよう総合解析を展開するとともに、研究成果をわかりやすい形で社会に発信・還元したいとかがえています。

今回、琵琶湖研究所と衛生環境センター（環境部門）における平成16年度の試験研究報告を取りまとめた小冊子を作成しました。みなさまに、これまでの試験研究活動をご理解いただき、率直なご意見をたまわり、今後のセンターの発展に反映させたいとかがえています。関係各位の一層のご支援とご協力をお願いもうしあげてごあいさついたします。

滋賀県琵琶湖・環境科学研究センター長

内 藤 正 明